

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構の設立について

1. 設立趣旨

神戸港のウォーターフロントエリアは、平成23年3月に策定された『「港都 神戸」グランドデザイン』の土地利用方針に沿って再開発を進めている。ウォーターフロントのまちづくりは広範囲かつ多岐にわたり、長期に及ぶことから、全体の将来像を踏まえつつ、多様な都市機能、統一感のある街並み形成を誘導する仕組みが重要となる。

そのため、まちづくりに関わる多様な主体が一体となって、順次形成されるエリアのマネジメントや地域活性化等の先導的役割を担い、魅力的で持続性のある都心・ウォーターフロントの形成を目指すことを目的として、(株)神戸ウォーターフロント開発機構を設立した。

2. 設立日

令和3年5月31日

3. 会社概要

(1) 名称：株式会社神戸ウォーターフロント開発機構

(2) 役員：

代表取締役社長	岡口 憲義	(一般財団法人神戸観光局 副会長)
常務取締役	和泉 智久	(神戸市港湾局ウォーターフロント担当部長)
社外取締役	矢崎 和彦	(株式会社フェリシモ 代表取締役社長)
社外取締役	川村 操	(三菱倉庫株式会社 神戸支店長)
社外取締役	長谷川 憲孝	(神戸市港湾局長)
社外取締役	河上 哲也	(株式会社三井住友銀行 公共・金融法人部 部長)
監査役	綴木 公子	(さくら萌和有限責任監査法人代表社員)

(3) 所在地：中央区新港町11-1 ジーライオンアワーズビル4階

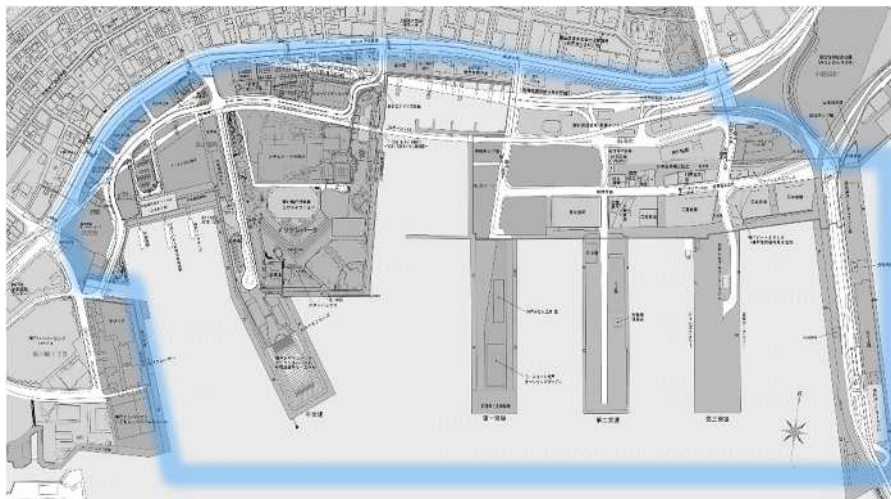
(※7月1日開設予定)

(4) 資本金等：資本金 4,500万円、資本準備金 4,500万円

(5) 発行株数：9,000株(神戸市9,000株、100%)

4. 対象エリア

新港第4突堤から高浜岸壁間のウォーターフロントエリア



5. 事業概要

都心・ウォーターフロントの将来構想である「『港都 神戸』グランドデザイン」や「神戸港将来構想」を踏まえながら、ウォーターフロントエリアにかかるマーケット調査・分析から民間投資の誘発、事業実現に向けた取組みを行うとともに、一体感のある土地利用や景観形成に向けたエリアマネジメント、公共空間を活かしたにぎわい創出など、広範囲かつ多岐にわたる再開発のマネジメントを地域の企業等と協働で進め、魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成に取り組んでいく。

令和3年度は、マーケット調査・分析を行うとともに、神戸ポートミュージアムなど新たな施設の建設・開業が進む新港突堤西地区にかかるまちづくりビジョンや、ウォーターフロントエリア全体の回遊性向上に向けた検討を、民間アドバイザーの協力も得ながら行う。また、水域の新たな利活用や、リニューアルを図る神戸ポートタワーのより魅力的な活用に向けた取組みを行う。

(参考) 参画予定のアドバイザー

山崎 満広 (やまざき みつひろ) 氏

・略 歴

2001年 南ミシシッピ大学修士課程 修了

2002年～ アメリカの建設会社・経済開発財団・コンサルティング会社に勤務

2012年 ポートランド市開発局 入局

2017年 Mitsu Yamazaki, LLC 設立 (独立起業)

・現 職 (抜粋)

Mitsu Yamazaki, LLC 代表

Ziba Design 国際戦略ディレクター

つくば市 まちづくりアドバイザー

横浜国立大学 客員教授

ポートランド州立大学 シニアフェロー